

35 両大戦間の時代 (ヴェルサイユ体制・全体主義の台頭)

第一次世界大戦

18 18.11 大戦の終結

ヴェルサイユ体制の成立

19 19.1 会議始まる★性格, 参加者
19.6 条約締結 対独 ★内容
19.9 条約 対奥
19.11 条約 対ブルガリア
20.1 の成立★内容, 問題点
20.6 条約 対ハンガリー
20.8 条約 対トルコ ★内容

ワシントン体制

21 21.11 会議 ★ねらい, 参加国
21.12 条約 太平洋地域の領土等
22 22.2 条約 中国に関するもの
22.2 条約

23 23.7 条約 対トルコ ★内容

国際協調の進展と相対的安定

24 24.8 案 ドイツ賠償問題★内容

25 25.12 条約 ★内容, 意義

26 26.9 ドイツの 加盟

27 27.6 ジュネーヴ軍縮会議 (失敗)

28 28.8 条約 米 仏

29 29.6 案 ドイツ賠償額削減

30 30.4 海軍軍縮条約 ★内容

ファシズム国家の台頭 伊・独・日

31 31.9 事変

32 32.3 満州国建国 .5 五・一五事件
32.7 ナチス, 第一党に進出

ヒトラー内閣の成立

33 33.1 33.3, 33.10 が国際連盟脱退

34 34.12 日本はワシントン, ロンドン条約破棄

ヴェルサイユ体制の崩壊

35 35.3 独の 宣言
35.10 イタリアの 侵入
36.2 ニ・二六事件
36.10 枢軸結成
36.11 日独防共協定成立

37 37.7 事件 日中戦争始まる
37.10 成立

38 38.3 併合
38.9 会談 ★参加者, 内容

39 39.3 の解体
39.5 日独伊

第二次世界大戦勃発

39.8 不可侵条約
39.9 侵入

ドイツ革命

18.11 キール軍港の水兵反乱
18.11 ドイツ共和国臨時政府の成立
★首班, 政権党 休戦条約締結
19.1 団の蜂起 ★指導者

国際紛争と戦後危機

18~20 対ソ干渉戦争
19~23 戦争
19~ をめぐるイタリア- ユーゴ の紛争
21.4 ロンドン会議で賠償金額の決定

ドイツ賠償問題

23.1 フランス・ベルギーの
ドイツの消極的抵抗, 大インフレ
24 (賠償問題) 案成る
25.7 ルール撤兵

世界恐慌 1929

29.11 暗黒の木曜日
アメリカにはじまり
全世界に恐慌広がる
対応

31.6 = モラトリアム
★内容

32.7 会議 ★内容
イギリスの 経済

33 米の 政策
★内容

反ファシズム

35.4 戦線 (英仏伊)
35.8 コミンテルン第7回大会決議
方式
36.2 スペイン人民戦線内閣成立
36.6 人民戦線内閣成立
36.7 内乱 (~39)
英仏の不干渉政策★背景
37.9 中国で 成立

英仏の 政策
38.11 フランスの人民戦線崩壊
39.3 スペイン人民戦線敗退

ロシア革命

1917.3 1917.11 ★経過
1918.3 条約

戦時共産主義

1918~20 日米の 開始

列強の干渉戦争, 反革命内戦の激化

19.3 の結成 ★目的
(第3インターナショナル)
20~21 ソヴィエト- ポーランド戦争

反革命の動き鎮圧

国民経済の荒廃

1921 新経済政策

() (NEP) 採択 ★特徴

22.4 条約 対独 ★意義
22.12 の成立

〔ロシア・ペロ= ルシア
ウクライナ・ザカフカース

24 英・伊・仏のソ連承認
24.1 の死

社会主義論争 [トロツキー 論
スターリン 論

25.1 トロツキーの失脚

国民経済の回復

スターリン時代

28~32 計画 ★背景・特徴

・国民経済の社会主義的改造
・重工業化と

29.1 トロツキーの国外追放

30 スターリンの独裁 (~53)

33~37 計画
社会主義計画経済の完成

33 アメリカのソ連承認

34 に加盟 (国際社会へ復帰)

34 大粛清始まる (スターリン独裁)

相互援助条約

憲法の制定

38~ 第3次五か年計画

39.3 ノモンハン事件

39.8 不可侵条約 ★背景
39.9 ・バルト三国へ侵入